

## ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟  
両丹支部長 中 道 浩  
(京都府立東舞鶴高等学校長)

平成29年度京都府高等学校体育連盟両丹支部長および京都府高等学校体育連盟副会長の大役を務めさせていただいてより、早1年が過ぎようとしています。当初はその職責の重さに大きな不安を感じておりましたが、会長の角井弘之様をはじめ、本部事務局等の多くの方々に格別の御指導と御支援をいただき、本年度を無事に終えることができました。あらためまして、関係のすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

わけても、各学校の部活動顧問として日夜熱心に御指導いただいている先生方には、部活動指導に加えて各専門部の委員として競技運営、普及・強化、広報、財務等で献身的に取り組んでいただいていることにも心からお礼を申し上げます。

さて、高体連両丹支部の事業は、例年5月の両丹高等学校総合体育大会からスタートします。今年度から陸上競技会場を丹波自然運動公園に変更し、総合開会式を大会開始の2日前に西舞鶴高校体育館で実施しました。京都府教育委員会・京都府高等学校体育連盟から代表役員をお迎えし、西舞鶴高校の先生方、吹奏楽部、放送部の御協力のもと、盛大に行うことができました。9月には両丹高等学校体育連盟定時制通信制総合体育大会を舞鶴文化公園体育館で、10月には両丹高等学校駅伝競走大会を海洋高校周辺道路で実施しました。今年で第70回となる両丹高校駅伝は、近年では参加チーム数も減少傾向にありましたが、今年度は理事会・企画委員会で活性化に向けて様々な観点から検討し、各校の保健体育科の先生方には参加者の増加に向けて御尽力いただきました。その結果、昨年度より参加校及びチーム数も増え、大いに盛り上がりました。1月には一般生徒対象事業としてバレーボールVプレミアリーグ女子の観戦を計画しました。試合はフルセットの大接戦となり、参加者の満足感も大きかったようです。その他、各専門部の大会や行事等を両丹支部役員、各専門部の顧問、ならびに各校の先生方のお力添えにより成功裡に終えることができました。あわせて感謝申し上げます。

今年度は京都府高等学校体育連盟が発足から70周年にあたり、記念式典と祝賀会が10月に京都市で開催されました。京都府副知事山内修一様、京都府教育委員会教育長橋本幸三様、京都市教育長在田正秀様をはじめ多くの御来賓をお迎えして行われた式典では、両丹地区からも多くの皆様が功労者表彰を受賞され、高体連両丹支部の歴史と伝統を再認識する機会となりました。

さらに、今年度も両丹地域の生徒が全国の舞台で活躍していることは喜ばしい限りです。個人競技ではインターハイレスリング男子74kg級での網野高校の伊藤選手、同女子52kg級での海洋高校の今井選手の優勝を筆頭に、レスリングとウエイトリフティングで延べ10名が3位以内の上位入賞を果たしています。団体競技では海洋高校の男子ウエイトリフティング部がインターハイ8位、同校女子ウエイトリフティング部が女子選手権大会で7位に入賞したのをはじめ、福知山成美高校ソフトテニス部、網野高校レスリング部、工業高校アーチェリー部がインターハイ団体出場を果たしています。また、定時制通信制においても、全国定通大会で綾部高校の男子卓球が5位入賞、個人では陸上男子800mで網野高校間人分校の西村選手が6位、女子砲丸投げ松田選手が7位、女子走幅跳で西舞鶴高校の松下選手が8位に入賞しました。選手の皆さんの健闘を讃えたいと思います。

東京オリンピック・パラリンピック開催を2年後に控え、舞鶴市ではホストタウンとしてウズベキスタンの柔道・レスリングの直前合宿が行われることが決定しています。また、京丹後市では韓国カヌー協会とのホストタウン交流の推進が計画されている他、2021年には関西ワールドマスターズのソフトテニス福知山市で開催される等、この両丹地区において体育・スポーツが発展していく機運がますます高まっています。このような中で、両丹地域の高校生が、これまで以上にスポーツに関心を持ち、意欲的に取り組んでくれるものと信じます。そして、それとともに各学校、各専門部、高体連両丹支部への期待は一層高まっていくことでしょう。

結びに、今後も京都府高体連両丹支部の取組が、多くの皆様から御理解と御支援をいただきながら実り多いものになりますよう、切にお願いいたしまして、御挨拶とさせていただきます。